

昭和 62 年度

帰国研修員フォローアップチーム報告書

— 家族計画関係 —

昭和 63 年 3 月

国際協力事業団
研修事業部

昭和 62 年度

帰国研修員フォローアップチーム報告書

—— 家族計画関係 ——

JICA LIBRARY



1065712[0]

昭和 63 年 3 月

国際協力事業団
研修事業部

17699

国際協力事業団

17699

序 文

国際協力事業団は、家族計画関係セミナーに参加した帰国研修員に対するフォローアップ事業の一環として、帰国研修員の所属機関及び関連機関を訪問し、当該分野に関する技術指導、研修効果の確認、評価並びに本研修セミナーに関するニーズの調査等を目的に、昭和62年11月27日から12月13日までの17日間、エジプト、リベリアの2カ国にフォローアップチームを派遣した。

本報告書は、上記フォローアップの調査結果をまとめたものである。当該分野における各国の実情、帰国研修員の活動状況及び帰国研修員等からの要望事項等を取りあげており、本書が今後の研修実施にあたり参考となれば幸いである。

なお、本件調査実施にあたって多大な御協力を賜った外務省、厚生省、埼玉県立衛生短期大学、財家族計画国際協力財団及び現地において数々のご指導とご協力を賜った在外公館並びに関係機関各位に感謝の意を表する次第である。

昭和63年3月

研修事業部長

岡 部 和 夫

写真1 エジプト国，セミナー会場（ Nile Hilton ホテル ）聴講者 30 名
（左から，鹿籠一等書記官，大嶋団員，村松団長，
National population Council 代表）

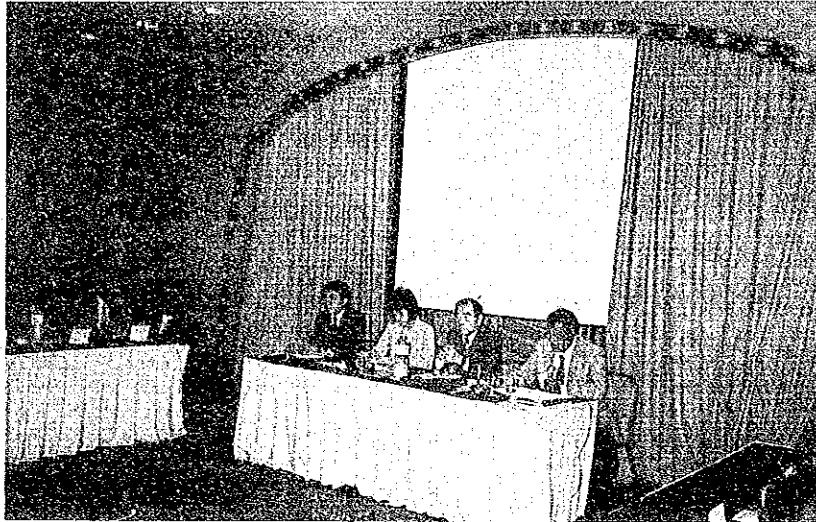


写真2 エジプト国，社会問題省，帰国研修員との面談
（中央 Mr. Mohsel El-Badramy 他帰国研修員 4 名）



目 次

序 文	
I 報 告 総 括	1
II 巡回指導の概要	2
1. 派遣目的	2
2. 調査・指導内容	2
3. 指導班の構成	3
4. 巡回指導期間	3
5. 巡回指導日程	3
III 帰国研修員の現状	5
1. エジプト	5
2. リベリア	7
IV 調 査 結 果	14
1. セミナーの評価	14
2. セミナーへの提案、要望	15
3. 各国の諸事情	15
資 料	
別添 1. 家族計画関係セミナーの概要	19
(1) コースの目的・背景	19
(2) 受 入 実 績	20
別添 2. 帰国研修員リスト	23
別添 3. クエスチョネアー	28
別添 4. 各国に提出した英文所見	37
別添 5. 現地セミナー配布資料	51
別添 6. エジプト・リベリア国家行政組織図	52
別添 7. “Statistical Year Book” (1952～1986)、 Central Agency, 1987 抜粋	54

I. 報告総括

1. 今回の国際協力事業団研修員の帰国後の活動についての調査は、アフリカ大陸から選ばれた2つの国、すなわちエジプトとリベリアについて行われた。訪問先の現地に着いてから米日した経験のある研修員と直接面談することに努めると同時に、事前に配布した調査書に対する解答を求めるなどして、研修員の率直な意見を得ることを心がけた。このようにして直接連絡を取れた研修員の数はかならずしも多かつたとはいえないのであるが、われわれが知り得た範囲内に関する限りでは、研修員のわが国での経験、ならびに与えられたセミナーに対する評価は極めて高かつた。全般的に短い間の滞日ではあつたが、密度の濃い研修を受けることが出来て満足であつたというものが多かつた。

研修員が出したコメントの中から、いくつかの具体的なものをまとめてみれば、以下のようになる。

(1) セミナーの一環として行われた各国からの研修員による経験の交流は自国での今後の仕事を進めるうえでレベルの近い国の状態は参考になる面が多いため特に有益であつたので、今後もこれを続けてほしい。(2) セミナーにおいて企画された日本国内の研修旅行は非常に有益であり、興味深いものであつた。特に地方における農民の生活の一端を見ることが出来たことはよい経験となつた。(3) 今日の日本はすべての点で進歩が著しいため今日の状態だけを見せられても、開発途上国から来たものにとっては距離があり過ぎて困る面がある。この点、人口・家族計画のセミナー、見学においては出来得る限り、30年、40年前の日本を紹介する努力が必要であり、また現にその点についてセミナー担当者が昔の日本を記録したフィルムを用いて紹介しており、このことは今後も一層努力を続けてほしい。(4) 研修員が本国に帰国した後、日本からのニュースの提供といったことを是非考えてほしい。これに関連して家族計画国際協力財団が送るニュースレターなどは大変参考になる。

2. 今度の調査にあつては、研修員との面談とともに講演、映画による現地セミナーを行った。この場合、エジプトのような大国で研修員の数も或る程度揃うところは問題ないが、リベリアのような小さい国ではそのためだけに機材を持込んでセミナーを開いても、参会者が少なく、投資の割に効果は小さいという状況があつた。こうした場合には、近隣の幾つかの国からも参加者を募れば、セミナーを効果的に実施できると思料されるどころ、今後の検討課題とならう。

3. わが国に派遣されて来る研修員の対象国の選択についてであるが、人口・家族計画の分野では、これから事業を始めようかという国と既に程度が進んでいる国があり、これら発展段階の違う開発途上国が同時にセミナーに参加すると、セミナー運営上に支障があるため、国別割当にあつては極力途上国の実情に即した国別割当を行うことが肝要である。

4. わが国が行う国際的な技術協力は大きく分けて人的な部門と物的な面があるが、研修事業

による人的面の協力の重要性を今回の現地調査においても改めて認識させられた。たしかに、開発途上国では、日本に研修に来たものが帰国後も長く本来のポストに定着する率は高くない。甚だしい場合には帰国後数箇月で外国に移住してしまいう例もある。しかし、一般的に言えば、人に対する投資は、その個人が生きて活動を続けている限りかっの訪日による日本と日本人に対する印象はそのまま残り、なにかの折にそれがわが国のイメージをあげる上に役立つことは期待してよいと考える。物資の提供ももとより大切ではあるが物はほどなく消えてなくなることが多い。人はその人が消えぬ限り、何処かで何らかの形で影響を持つ。このように考えれば、人に対する投資である研修事業は極めて有意義な事業である。

II. 巡回指導の概要

1. 派遣目的

当該セミナーが昭和42年に、アジアより第1回の研修員を受け入れてから、ちょうど20年が経過したが、その間には“家族計画”の様々な側面にスポットを当てる為コース名のみならず、内容にも色々な改善が加えられてきた。参加国もアジアから始まり、中近東、中南米及び今回の訪問国となったエジプト、リベリアを含むアフリカ諸国へと広がり、総数でのべ900名を越える研修員が当該セミナーに参加している。今回の巡回指導班は、近年特に参加の増えてきたアフリカ諸国の中から、帰国研修員数が多いエジプトとリベリアの二カ国に対し、帰国研修員及びその関係機関を訪ね、最新情報の提供、帰国研修員が当面する諸問題、セミナーへのニーズ・要望等の調査を行い、今後のセミナーの改善、向上をはかることを目的として派遣されたものである。

2. 調査・指導内容

当該セミナーは、家族計画分野における日本の経験、すらわち家族計画が単に人口問題としてだけでなく母子保健と統合されて行われ、しかも官・学・民が一体となって活動した結果、短期間で成功したという事実と経験を伝えることを主眼としている。

今回の巡回指導班の調査・指導内容としては

- ① 帰国研修員に、調査団が事前に送付したセミナープログラムの各項目毎の評価を問う質問表を回収、分析し、同時に現地で帰国研修員との面談を通し、セミナーで得た知識、技術の理解度と自国での活用度を評価する。
- ② 現地で一日セミナーを開催することで、わが国の家族計画分野での最新情報を提供する。
- ③ 保健分野の関係機関を訪問することにより、各国の一般事情を把握する。

3. 指導班の構成

村松 稔 埼玉県立衛生短期大学 学長
 大嶋洋子 家族計画国際協力財団国際事業部 (JOICFP)
 平井敏雄 JICA研修事業部研修第二課

4. 巡回指導期間

昭和62年11月27日～昭和62年12月13日、17日間

5. 巡回指導日程

エジプト国調査日程 昭和62年11月28日～昭和62年12月5日

日順	月 日	時 間	行 程 及 び 訪 問 先
1	11月27日(金)		成田出発
2	11月28日(土)	8:30 9:00~11:00	カイロ到着 JICAカイロ事務所、吉崎氏、及び Mr. Mohamed Dia El Din と 日程等の打ち合わせ
3	11月29日(日)	9:30 10:00~11:00 11:30~13:00 13:30~14:30	ホテル出発 JICA橋本明彦所長と打ち合せ National Population Council (表敬及び帰国研修員と面談) 日本大使館、鹿籠雅純一等書記官表敬
4	11月30日(月)	8:30 9:00~11:00 11:00~ 12:30~15:00	ホテル出発 Ministry of Health表敬(我妻先生ミッションと同行)及び面談 Ministry of Social Affairs表敬及び面談 JICA事務所にて日程再確認
5	12月 1日(火)	9:00 10:00~14:00 14:00~15:30	ホテル出発 セミナー開催 (フィルム2本、「日本の人口、家族計画」[最新版]質疑応答) 全員で昼食会、懇談会(出席者=30人)
6	12月 2日(水)	7:00 11:00~16:00	ホテル出発 移動(カイロ→アレキサンドリア) Institute of Training & Research for Family Planningにて面 談、及び施設見学
7	12月 3日(木)	9:00 10:00~11:00 11:00~13:00 14:00~18:00	ホテル出発 Alexandria Teaching Hospital Dr. Rizk, Dean表敬面談 Alexandria Maternity Hospital, Dean表敬面談及び病院見学 カイロへ移動
8	12月 4日(金)	9:00~12:00	資料整理及び礼状他書類作成
9	12月 5日(土)		資料作成
10	12月 6日(日)		移動(カイロ→モンロビア)

リベリア国調査日程 昭和62年12月7日～昭和62年12月10日

日順	月 日	時 間	行 程 及 び 訪 問 先
11	11月 7日(月)	19:30	モンロビア到着(日本大使館、JOCVより日程の説明)
12	12月 8日(火)	8:45 9:30 10:30 11:30 13:30~14:30 14:50~16:00 19:20~20:30	ホテル出発 日本大使館、益田寛大使表敬 Ministry of Foreign Affairs 表敬、Mr.Shermen, Coordinator Ms. Kennedy, Coordinator, Afro. Asian Bureau Ministry of Health, Ms. Bell. Minister 表敬 JOCV OFFICEにてセミナーについて調整 Family Planning of Liberia, Ms. Stewart, Exective Director 面談 JOCV 隊員の方々と夕食
13	12月 9日(水)	8:30 9:00~10:30 11:00~13:00 13:00~15:00 15:30~18:00 19:00~21:00	ホテル出発 会場準備(支払い不能の為、電気を切られていたので、JOCVより発電機を借りて準備をした) セミナー開催 フィルム2本「日本の人口、家族計画〔最新版〕」質疑応答 昼食会、研修員面談(出席者11人:帰国研修員4人) 資料整理、及び、礼状他書類作成 大使公邸にて夕食会
14	12月10日(木)	9:00 10:00~12:00 13:30~16:00 19:00	ホテル出発 John F. Kennedy Hospital 訪問 Dr. Walter Brumskine, Director 表敬 資料整理 モンロビア出発
15	12月11日(金)		移 動
16	12月12日(土)		移 動
17	12月13日(日)		成田着

Ⅲ 帰国研修員の現状

1. エジプト

帰国研修員総数は 38 名であり、所属機関訪問及び現地セミナーの際その中の 24 名に面会し、14 名より質問表を回収できた。帰国研修員のほとんどが首都カイロに集中しており、第一線で活躍している。面談などを通して得た感じでは、彼等の多くが、日本及び日本人に対して今だに強い新近感を抱いている。現地で開催したセミナーには、帰国研修員以外の参加者をも含めて 30 名程が集まった。

セミナー参加者の選考方法については、関係各省とも選考委員会を設け、プライオリティをつけるなどして、厳正なる態度で臨んでおり、本セミナーへの期待と意欲がうかがえる。

写真3 エジプト国、National Population Council

(左から、大嶋団員、村松団長、Dr. Sobhi Abdel Hakim,
Dr. Maher Mahran, 吉崎エジプト事務所職員)



写真4 エジプト国、セミナー会場

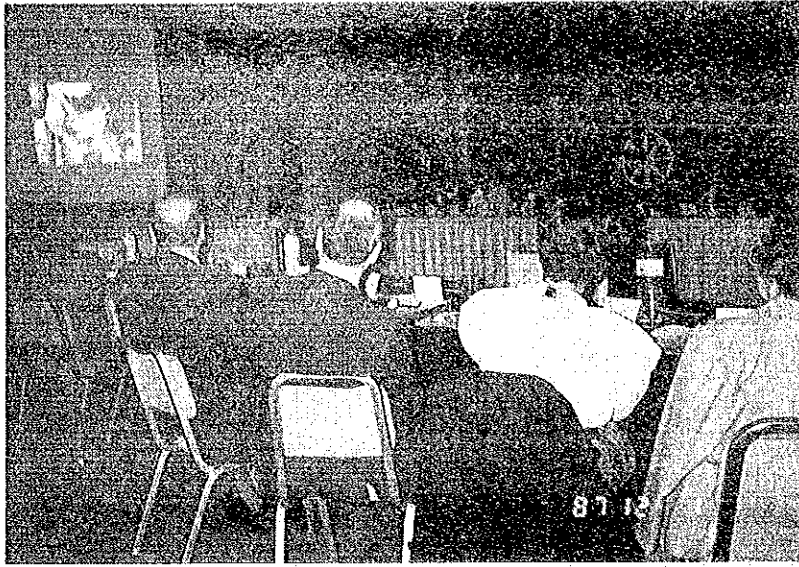


写真5 アレキサンドリア大学、医学部表敬
(写真中央、 Prof. A.A. Rizk, Dean)



写真6 エジプト家族計画協会 アレキサンドリア支部の人材養成センター
(写真左、帰国研修員 Ms. Salha Hanem, Dean)



2. リベリア

帰国研修員数は11名である。その中、現地でのセミナーに参加した4名の帰国研修員と面談し、質問表を回収した。他の7名については、当日首都モンロビアを離れていた、あるいは現在、当該分野に就いては不在などの理由で面談できなかった。面接した4人については、政府機関、民間機関それぞれで活躍中である。

写真7 リベリア国、厚生大臣表敬
(写真右から2番目、Mrs. Martha Belle, Minister)



写真8 リベリア国、Family Planning Association of Liberia
(写真右、帰国研修員 Ms. Wokie Stewart, Executive Director)

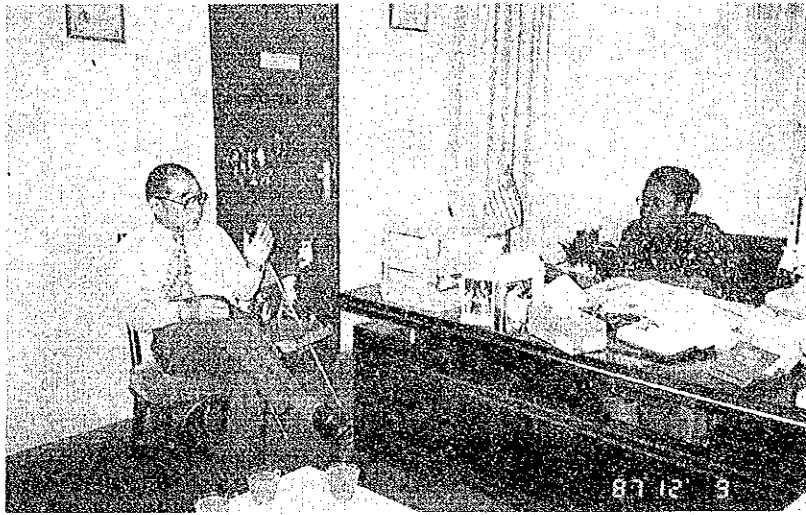


写真9 リベリア国、John F. Kennedy 病院
(左から村松団長、Dr. Walter Brumskine, Director)

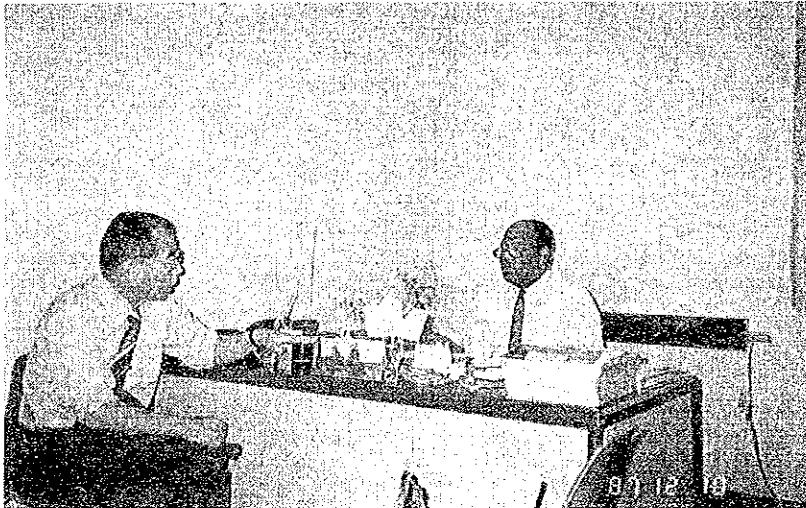
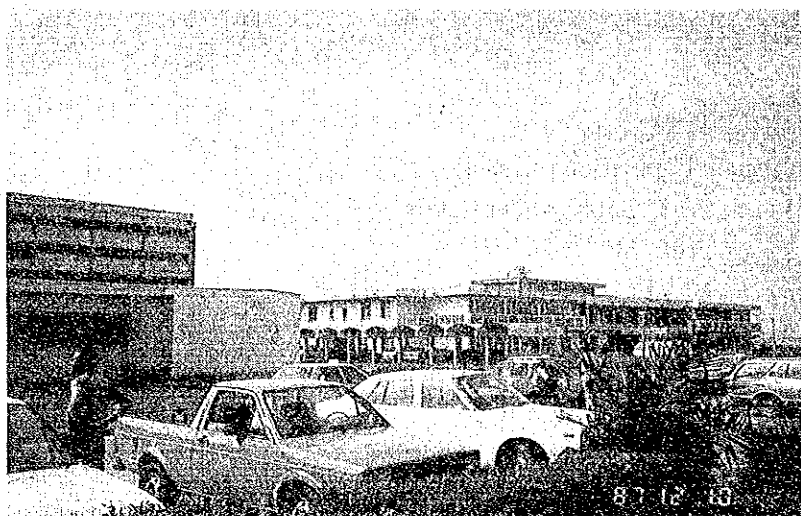


写真10 リベリア国 John F. Kennedy 病院



尚、両国とも質問表への回答はひじょうに好意的であり、中には10年以上も前の研修員もあつたが、一様に誠意が感じられるものであつた。エジプト、リベリアの面談者リストを表-1に、回収したクエスチョネアの回答結果は表-2、3の通りである。

表-1 面談者リスト

エジプト

1. National Population Council
 - (1) Prof. Sobhi Abdel Hakim
 - (2) Prof. Maher Mahran
 - (3) Mr. Fawzy Abdel Ghany Ahmed (Ex-participant)
 - (4) Ms. Wafaa Shalal Amin Gavin (Ex-participant)
 - (5) Mr. Abdel Fattah Ahmed (Ex-participant)
 - (6) Mr. Ali Amn Waface (Ex-participant)
 - (7) Mr. Nazzry Shaker Andrews (Ex-participant)

2. Ministry of Health
 - (1) Dr. Farouk Gafar
 - (2) Dr. Aliya Ayoub
 - (3) Dr. Moshira Mohamed El Shaffie (Ex-participant)

3. Ministry of Social Affairs
 - (1) Mr. Mohsen El-Badrawy (Ex-participant)
 - (2) Ms. Hanna Shafik Lawahiz (Ex-participant)
 - (3) Ms. Hoda Aimeed Barakat (Ex-participant)
 - (4) Mr. Maher Abdel Wahab Waked (Ex-participant)
 - (5) Mr. Soliman Khaled (Ex-participant)

4. Egyptian Family Planning Association,
Institute for Training and Research in Family Planning
 - (1) Ms. Salha Hanem (Ex-participant)

5. University of Alexandria, Faculty of Medicine
 - (1) Prof. Abdel Aziz Rizk

6. Shatby Maternity University Hospital
 - (1) Prof. Mousraha Ali El Habashi
 - (2) Prof. Hamy Aly Abdel Rahma
 - (3) Prof. Mohamed Ramafan Gaber
 - (4) Prof. Mohamed Mohie El Din Khowessah
 - (5) Prof. Ibrahim Loutfi

リ ベ リ ア

1. Ministry of Foreign Affairs
 - (1) Mr. Samuel Sherman
 - (2) Miss Genevieve Kennedy

2. Ministry of Health and Social Affairs
 - (1) Mrs. Martha Belle
 - (2) B/Gen. J. Boima Barclay
 - (3) Dr. Ivan F. Camanor
 - (4) Mrs. Marion Subah
 - (5) Mr. John Welai Davis

3. Family Planning Association
 - (1) Mrs. Wokie E. T. Stewart (Ex-participant)

表-2 帰国研修員へのクエスチョネア-回答結果

回答数 エジプト：14人

リベリア：4人

クエスチョネア-の質問項目	エジプト	リベリア
1. セミナーに関する事前情報 A：十分 B：不十分	9 4	3
2. 研修期間 A：適当である B：長すぎる C：短かすぎる	9 3	2 1
3. 研修時期 A：適当である B：不適當である	7 5	2 1
4. 参加者数 A：適当である B：多い C：少ない	9 4	3
5. 他の研修員のレベル及びバックグラウンド A：適当である B：不適當である	10 2	3
6. 講師 A：Excellent B：Good C：Poor	2 9	1 2
7. 討論 A：Very Useful B：Useful C：Not Useful	2 9	3
8. 研修旅行 A：Very Useful B：Useful C：Not Useful	4 7	3
9. カントリーレポート A：Very Usefu B：Useful C：Not Useful	2 10	1 2

表-3 帰国研修員クエスチョネア回答結果(研修項目別)

回答数: エジプト 14人

リベリア 4人

A: Excellent B: Fair C: Poor

※ FP: Family Planning ※ MCH: Maternal and Child Health

I T E M S I. Tokyo Session II. Country Presentation III. Field Observation		Adaptability to your job		
		A	B	C
I	1. 政府レベルのFPプログラム	10	4	
	2. 民間機関のFPプログラム	10	3	2
	3. 家族計画と寄生虫予防のインテグレーションプログラム	11	3	
	4. FPとPHC	12	4	
	5. MCH / FPの広報教育プログラム	9	7	
	6. 地域社会組織	10	7	
	7. 思春期保健	8	6	1
II	1. カントリーレポート	9	3	
III	1. 地方自治体のMCH / FP行政	11	4	1
	2. 市役所と県保健所の協力	10	4	1
	3. 県立保健所の役割	10	4	1
	4. 自立概念に基づく地域社会組織活動	9	6	
	5. 農家訪問及び生活様式の見学	13	3	
	6. 小学校訪問及び児童への衛生教育見学	14	3	
	7. 民間機関の役割及び有料制度による活動	9	6	
	8. 病院見学	12	2	2

Ⅳ 調査結果

1. セミナーの評価

面談及び質問表の回答を通じ、両国とも本セミナーに対し高い評価を与えている。以下に、面談及び質問表からのセミナーへの評価を要約すると、

- (1) 家族計画について、自国と全く異なる概念にたつ、ユニークな成功例を知り得た。従来からの家族計画に対する考え方から脱却し発想の転換の必要性を認識した。今後も、家族計画を広い意味で捉える必要があることがわかったので、巾広く当該セミナーに人材を送りたいと考えている、などでありさらに一歩進んで、日本の母子保健に関する優れたシステムをとり入れられるよう、関係諸機関に働きかけているものもあった。
- (2) 日本に関する情報はもとより、カントリープレゼンテーションを通して、世界各国の当該分野での国際的視点にたつた情報交換ができ、国際セミナーとしての価値が絶大である。
- (3) フィールドトリップの経験がたいへん有効に作用しており、今後も必らずプログラムに組み入れてほしいとの要望が多い。その理由として、地域社会や農家訪問などを通じ日本人の生活様式にまで触れ、また住民参加の実践例を目のあたりにすることによって、欧米にありがちな理論的な傾向と強いセミナーに比べ、自国での応用の可能性を高めている。
- (4) 研修機関、及び見学先における人的交流の暖かさ。このことが長年にわたって日本及び日本人に対する好印象を形成するのに大いに役立っている。必ずしも全ての帰国研修員が将来的に同分野で活躍するということが期待できるわけではないので、日本のよき理解者を得るといふ第一義的な意味においては最も重要な点であると思われる。
- (5) セミナーへの参加に対する本国の評価は両国ともかなり重要視はされているものの、直接昇進の要因になるまでは至っていないケースが多いようであるが、各国とも1名ずつ帰国後昇進という回答があった。
- (6) 研修機関より届く定期刊行物は、帰国後の日本及び、世界の動向を知る上で、たいへん貴重な資料となっている。フォローアップの一環として、今後もこの種のつながりが継続されることが強く望まれている。

以上が主だった点であるが、さらに国別に挙げるとすれば、以下のようになる。

エジプト

- ・日本の厚生省の保健サービスが自国と全く違っていることを知り、大いに参考となっている。
- ・フィールドトリップで視察した農村における巡回健診の現場を見学できたことは、特に評価したい。
- ・日本の家族計画分野の民間機関が自立という点で成功しており、なおかつ政府と民間とがみごとな協調関係を保っているということは驚くべきことであり、ぜひ本国でも導入

したい点である。

リベリア

・セミナーに対して、極めて好印象を得たので、帰国後たいへん詳しいレポートを本国の外務省、社会福祉省などへ提出した。

さらに、日本の母子健康手帳制度の自国への導入に向けて国家人口委員会など関連機関に強い働きかけを行ってきている。

2. セミナーへの提案、要望

- (1) 両国ともに、ほとんどの研修員から強く要望されたのは、リフレッシュャーコースの設定及び研修機関のみならず、JICA他関連機関からの刊行物などによるフォローアップの継続である。前者について言えば、セミナーの経験を長期にわたって生かす上で極めて効果の高いものと思われる。
- (2) 研修期間は長年の間に変化し、2週間から6週間にわたっているが、概ね4週間位が最適かと思われる。また、項目別では、ディスカッションの時間の延長を希望する声が多く聞かれた。
- (3) 当該セミナーは前述のように比較的短期間のセミナー形式で行われてきたが、さらに政策決定の地位にあるものばかりなく下位レベルの人たちへの実践面を強調したトレーニングに対する要望も、かなり多く見受けられた。
- (4) 資格要件の中で制限年齢の引き上げが、特にエジプトの保健省より強く要望された。帰国後の在職年限が数年しかないような場合でも、人によってはセミナーの経験を十分に生かし得ることが考えられるからであるが、日本でのセミナー参加に支障がない範囲で年齢制限をゆるやかにすることは一考に値すると思われる。
- (5) この種の巡回指導班を、より短いサイクルで実施してほしい旨の要望が出された。今日、日本の最新情報を伝えるべく両国で実施した現地セミナーも評価が高く、その頻度を増やしてほしい要望も出た。
- (6) セミナー中に使用された優れた視聴覚教材の供与が機材とともに切望されている。

3. 各国の諸事情

帰国研修員との面談並びに関連機関訪問を通して得た両国の情報、印象などを以下に簡単に記しておく。

(1) エジプト

エジプトの人口増加率は、1985年時点で、年平均2.8%となっており、これは年間約130万人増加のペースである。これを抑制する為に、さまざまな家族計画サービスが、政府及び民間機関によって展開されてきている。「エジプトはナイルの賜」という言い古されたことば通り、ナイル川流域に沿って開発が行われてきたが、人口問題を考える際に、

留意しなければならない点は、国土の99%が砂漠であるということである。従って、居住地、可耕地その他を合わせたものが残り3%に集中するのであるから、常に農業開発の問題を忘れることはできない。農村における経済力強化という題目が同時にクローズアップされてくるわけである。

エジプトにとって日本は米国に次ぐ第二の援助国となっている。家族計画、人口分野においてはUSAIDの援助が歴史的にも圧倒的な地位を占めているようである。

エジプトにおける家族計画の歴史は、民間主導で始まっている。IPPFの前会長であるアジザ・フセイン女史などの著名な女性運動家を輩出しているが女史はもともと同国の農村開発プログラムの一環として農村女性の自助努力を助け、女性の地位向上という観点から、最も早い時期に近代的家族計画を提唱した。また、同女史はエジプト国内にとどまらず、国連の女性の地位委員会においても、初めて家族計画についての発言を行った人でもある。こうした卓抜した女史を民間機関のリーダーにもつことができたのは同国にとっては極めて幸運だったと言えるだろう。

こうした歴史を踏まえ家族計画分野における国内の組織は次のようになる。

国の最高の政策立案決定機関として、国家人口審議会(National Population Council)がある。これは大統領直轄の機関でありメンバーは首相、副首相及び各省大臣から成っている。以前存在した首相直轄の人口・家族計画最高審議会(Supreme Council for Population & Family Planning)が、言わば格上げされたものと考えてよかろう。その執行機関を担当しているのが二省あり、保健省(Ministry of Health)並びに社会事業省(Ministry of Social Affairs)である。本来、家族計画に関するサービスは内容から言えば、保健省の母子保健関係が扱っているところが多いが、先に触れたとおり、この国の家族計画が、女性によって福祉の色彩の濃い取り上げられ方をした経緯がある為、現在まで民間の家族計画組織を統轄する機関たる社会事業省も家族計画サービスを手がけている。基本的に両省が保健所などを通じて行なうサービス内容に相違はないようであるが、担当比率から言えば、保健省の方がはるかに多いと言えるようだ。

民間機関には、IPPFのメンバーであるエジプト家族計画協会(Egyptian Family Planning Association)の他に、主に避妊具のマーケティングに専心している「将来の家族の為の協会(Family for the Future)」がある。

前者は、26行政区画の中、24ヶ所に支部があり、500余のセンターを有している。資金源はIPPFはもとよりUSAID及び社会事業省等であり、住民への家族計画サービスの他にFPワーカーのトレーニング等も同時に行っている。チームが訪れたアレキサンドリア支部は、60人位まで収容可能なセミナールーム並びに宿泊施設を有し、国内のみならず、アラビア語圏の地アフリカ地域を対象にしたトレーニングを行っている。さらに、

KAP調査をはじめとする各種リサーチ業務も展開しているが、いずれにしても、人材養成に欠かすことのできない優れた教材開発などへの資金不足が深刻な悩みであるのは、どの機関にも共通している問題であろうか。ただ、よく開発途上国で開かれるような政府と民間機関との軋轢はあまりないらしく、政府は好意的であるというのは喜ばしいことである。家族計画サービスの内容が競合することではなく、また大統領が民間機関重視の旨を公表したりしているからというのが、アレキサンドリア支部で伺った理由のようである。

以上の情報は、帰国研修員である同支部附属機関の家族計画訓練調査研究所(Institute for Training & Research in Family Planning)の所長から得たものであるが、本セミナーについても深い理解と好印象を持っている。人材養成の為の教育は、同機関にとっても極めて重要な分野でありぜひとも多くのスタッフを日本へ送りたいが、民間機関ということもあり、1ヶ国の研修員割当て人数より首都カイロのみが参加権を独占しているという状態が続いているもようで、そのことに対する強い不満を表明した。同女史は、来日当時は社会事業省に勤務していた為に参加可能であったということである。候補者の人選については自国内の問題ではあるが、やはり公平上ということを考えて場合、G・Iが国全体に行きわたるよう何らかの方法がとれないものが一考の要ありと考じられる。またアレキサンドリア大学附属病院を訪れた際にも、同様にセミナーの存在さえ知る機会がなかったという声が聞かれた。

尚、当病院で得たところでは、人口妊娠中絶は、母体の健康に関する理由以外では、非合法とのことである。

(2) リベリア

あまり日本国内では、情報が得にくい国の1つかと思われるので、簡単に概況に触れておく。リベリアはその成り立ちを見ても、アフリカ諸国では、例外的に植民地化された歴史を持たない国である。隣国は全てヨーロッパ列強に支配されたにもかかわらず、リベリアは「アメリコライベリアン」と呼ばれるアメリカ合衆国からの解放奴隷が建国し1847年に共和制の宣言をしている。しかし、社会、経済全てを牛耳った彼らと先住部族民との間には、あらゆる点で歴然たる隔差が生じていた。少しずつその形を変えながらも、言ってみれば黒人による黒人の支配が、1980年のクーデターまで続いたようである。以来、現在までのところは、部族出身のドウ大統領の独裁が続いている。しかし、現在のリベリアは、いろいろな意味で深刻な状態にある。主な輸出産品である鉄鉱石、ゴム、ダイヤモンドなどがいずれも国際的な不況のあおりを受け、国家的財政難に陥っている。ここ4～5年公務員に対する給与遅配が続いており、また、人員整理、給与カットなども行われているということである。こうした状況にあるので、当然のことながら勤労意欲が失われ、最悪の例を挙げれば、医療施設においても“go slow”と称する一種のストライキが発生

していることである。海外協力隊員で文字どおり献身的に働いてこられた方々の報告によれば、薬品、機材の損傷、紛失などが後をたたず、瀕死の患者に対しても最善の手当てを施さないというようにことまで見受けられることもあったとのことである。強盗なども発生し社会不安増大の為、はなはだ治安が良くない。従ってこうした問題の解決が政府にとって最大の課題であり、その他のあらゆる開発計画に優先するというところが現状ではないだろうか。実際、チームもセミナー開催の朝、予定していたかつての唯一の豪華ホテルが突然料金未納の為停電の状態にあり、日本から持ち込んだ 16 mm フィルムやスライド上映が可能かどうか、大いに危ぶんだが、幸い J O C V 隊員の方々の機敏な行動で事無きを得るといふ体験をしたこともつけ加えておく。

さて、こうした情勢における家族計画は、確たる政策が模索されている段階にあるようである。この国には、人口に関する政策決定機関としては国家人口委員会 (National Population Commission) があり、企画経済省 (Ministry of Planning & Economic Affairs)、保健、社会福祉省 (Ministry of Health & Social Welfare) 両省が議長を務めているとのことである。家族計画は母子保健に統合されており、一家族子供 4 人が一応の目標にはなっているようである。実際には、合計特殊出生率は 6.7 という数字が出ているが、まだまだ一夫多妻という形態が現存している事実を忘れることはできない。尚、人工妊娠中絶については、エジプト同様、母体の健康を守るという目的以外には非合法である。しかし、いわゆるブラックマーケットの存在については容易に想像できることのようにだ。

従って、この国の家族計画も民間主導であり、カソリック教会である自然家族計画協会 (Natural Family Planning Association) と、I P P F のメンバーであるリベリア家族計画協会が 2 つがある。後者については、事務局長が帰国研修員であり、さらに帰国後も研修機関に近況報告をするなど親交もあった。同団体は、1966 年に政府事業を援助するという目的で設立されており、支部及びクリニックを有し、スタッフも約 70 人を教える。

今回訪れたリベリアでは約 50 人の J O C V の隊員がいろいろな分野で草の根レベルの活動を展開している。必ずしも首都モンロビアに滞まるとは限らず、むしろ離れている方が多いようである。この国では、自然、保健、衛生環境のどれを取ってみても、苛酷という表現は決して大げさではないのではなかろうか。首都においてさえ、電話回線も頼りならず、トランシーバーを肌身離さず持たなければならない。チームが到着した日、ガーナの隊員がマラリアでかなり危険な状態にある為、東京経由でリベリアの J I O A の無償協力で建てられたジョン・F・ケネディ病院の専門家派遣依頼の入電があり、いつ飛ぶか保障のない飛行場へと、急拠急ぐというようなことがあった。日本の内外を問わず、こうした隊員たちの活躍は、巾広く知らされてしかるべきではないだろうか。

資 料

別添1 家族計画関係セミナーの概要

(1) コースの目的・背景

家族計画分野でのセミナーは、昭和42年度より厚生省の協力を得て始まったが、当初の数年間は毎年1セミナーを、アジア中近東地域を対象として実施してきたが、以後次第に目的、分野を細分化してセミナーの数を増やせると同時に、研修員の受入れもアフリカ、中南米へと広がってきた。

62年度は、家族計画指導者セミナー及び家族計画組織活動セミナーの2つを実施したが、昭和57年度迄は家族計画広報教育セミナーを、昭和61年度迄は家族計画医学保健セミナーを実施してきた。以下に各セミナーの目的・背景を述べる。

① 家族計画指導者セミナー

昭和46年に開始され、開発途上国の家族計画行政官を対象として、我国の家族計画、母子保健における行政、組織体制、プログラム運営方法等の紹介と、家族計画プログラムに関して研修員相互間及び日本人専門家との意見交換を通して、参加国の家族計画に寄与することを目的としている。

② 家族計画組織活動セミナー

本セミナーは、人口・家族計画に関する知識を広く国民に普及させる方法と手段をテーマとして昭和48年に開始された家族計画広報教育セミナーと、地域社会に根ざした住民組織活動による家族計画運動をテーマとして昭和50年に始まった家族計画組織活動を連動させ研修効果をより一層高め強化することを目的に、昭和58年にスタートし、中央政府または地方レベルで広報教育活動を含んだ家族計画組織活動に関与している人を対象に実施している。

③ 家族計画医学保健セミナー

昭和49年に開始され、開発途上国の家族計画に携わる医療・保健担当者を対象として、家族計画プログラム上の医療保健問題、及びこれに付随する諸問題をテーマとして、我国の家族計画における「母子保健」を中心とした医療・保健衛生活動を紹介すると共に、研修員相互間及び日本人専門家との意見交換を通し、家族計画プログラムの向上をはかることを目的としている。本セミナーは昭和61年度まで13回実施された。

④ 家族計画広報教育セミナー

②で述べたように、昭和48年より家族計画に関する広報教育をテーマとして昭和57年度まで10回実施されたが、昭和58年度よりは、組織活動セミナーと統合され現在に至っている。

④ 家族計画医学保健セミナー

国別研修参加実績表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
国名	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85
<アジア地域>	5	5	12	13	9	8	7	7	8	5	7	7
バングラディシュ	1		2	1	1		1	1			1	1
インド		1		1		1						
インドネシア		1	2	2	2	2	1	2	2	1	2	1
大韓民国							1	1	1			
マレーシア	1			2					1		1	
ネパール		1	1		1	1	1	1		1		
パキスタン			1	1	1	1	1					
フィリピン	1		2	2	2	1		1	1	2		1
シンガポール	1		1	1		1						
スリランカ		1	1	1	1		1		1		1	1
タイ			2	2	1	1	1	1	2	1	2	2
香港		1										
中国												1
ベトナム	1											
<オセアニア地域>	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
西サモア									1			
<中近東地域>	2	3	4	5	3	3	3	2	1	3	1	2
アフガニスタン	1	1	1	1	1							
エジプト	1	2	2	2		1		1	1	1		1
イラン			1	1	1	1	1					
イラク				1	1	1	1			1		1
スーダン							1				1	
シリア								1				
トルコ										1		
<アフリカ地域>	0	0	0	0	0	1	0	1	2	3	4	2
ガーナ						1						
リベリア								1	1	1	1	
タンザニア									1	1	1	
ケニア										1		1
モロッコ											1	
ザンビア											1	
シュラレオーネ												1
<中南米地域>	0	0	0	2	3	3	4	4	3	5	4	5
ブラジル					2	1	1					2
コロンビア						1	1			1	1	
ドミニカ				2								
エクアドル					1							1
エルサルヴァドル									1	1		
メキシコ							1	2	2	2	1	1
ペルー						1	1	2		1	1	
キューバ											1	1
合計	7	8	16	20	15	15	14	14	15	16	16	16

LIST OF PARTICIPANTS

1987. 9. 7

No.	氏名	名前	期日	研究科目	現職	住所	参考
1	エジプト	MS. MOSTAFA M. AWAD SALHA IBRAHIM	1976 6/2 - 1976 7/28	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS & EGYPTIAN FAMILY PLANNING INSTITUTE FOR TRAINING & RESEARCH DIRECTOR	5 TALHAT IARB STREET, CAIRO, EGYPT	
2	エジプト	MR. AHMED SHAFEK SAIED GHANEMA	1976 6/2 - 1976 7/28	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS PUBLIC RELATIONS AND INFORMATION GENERAL DIRECTOR	CAIRO, EGYPT	
3	エジプト	MR. MAKRAM COMAH HELLAL	1976 8/25 - 1976 9/22	(S) HEALTH & BIOLOGICAL ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH SPECIALIST	CK EL MASREH INOSP., GIZA	
4	エジプト	MR. ALI MOHAMED SOBHEH	1976 10/6 - 1976 11/3	(S) LOGISTIC ASPECT IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIR GENERAL DIRECTOR	CAIRO E. A. R.	
5	エジプト	MR. AHMED MUSTAPHA GABER	1977 6/22 - 1977 7/10	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS SOCIAL AFFAIRS DIRECTORATE DIRECTOR GENERAL	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS CAIRO TAHRIR	
6	エジプト	MR. HANNA SHAFIK LAWAHIZ	1977 6/22 - 1977 7/10	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS FAMILY PLANNING DPT. SOCIAL WORKER	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS CAIRO TAHRIR	
7	エジプト	MR. HAIDER FARMY EL DAGHISTANY	1977 8/17 - 1977 9/4	(S) MEDICAL BIOLOGICAL ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF PUBLIC HEALTH CHAIRMAN, EL GALAA, MATERNITY, TEACHING.	EL GALAA MATERNITY HOSPITAL 26 JULY STREET CAIRO EGYPT	
8	エジプト	MR. AHMED IBRAHIM MOHAMED	1977 8/17 - 1977 9/4	(S) MEDICAL BIOLOGICAL ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH CONSULTANT OBSTET & GYN EL GALAA MATERNITY TEACHING HOSPITAL	EL GALAA MATERNITY HOSPITAL 26 JULY STREET CAIRO EGYPT	
9	エジプト	MR. MOHAMED KAMAL EL TILILETY	1977 11/7 - 1977 11/26	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS DIRECTOR GENERAL	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS	
10	エジプト	MR. EL SAYED OMAR ZEIDAN	1977 11/7 - 1977 11/26	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS RESEARCH DEPARTMENT DIRECTOR	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS	
11	エジプト	MR. AHMED MOHAMED IBRAHIM ABDEL FATTAH	1978 4/12 - 1978 4/28	(S) FAMILY PLANNING ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICERS IN ASIA (10)	POPULATION & FAMILY PLANNING BOARD DIRECTOR	P. O. BOX NO. 1036 CAIRO EGYPT	(2)
12	エジプト	MR. FARZY ABDEL GHANY AHMED	1978 6/7 - 1978 6/24	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	POPULATION & FAMILY PLANNING BOARD DIRECTOR	P. O. BOX NO. 1036 CAIRO EGYPT	

(10): 集団 (20): 単発 (24): G/P (2): 専攻研究員

LIST OF PARTICIPANTS

1987.9.7

NO. 2

No.	国名	名前	期間	研究科目	現職	住所	参考
13	エジプト	MR. WADIE ERIAN MIKHAIL	1978 10/18 1978 11/2	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	POPULATION & FAMILY PLANNING BOARD DIRECTOR	P. O. BOX NO. 1036 CAIRO-EGYPT	
14	エジプト	MR. MASSRY SIL ANDRAWES	1979 6/6 1979 6/26	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	POPULATION & FAMILY PLANNING BOARD POPULATION EDUCATION & TRAINING DEP DIRECTOR	P. O. BOX NO. 1036 CAIRO-EGYPT	
15	エジプト	MR. NASR MOHAMED DIAR	1979 8/15 1979 9/4	(S) MEDICAL BIOLOGICAL ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF PUBLIC HEALTH DIRECTORATE OF HEALTH	MINISTRY OF PUBLIC HEALTH CAIRO EGYPT	
16	エジプト	MR. MOHAMED HUSSEIN EL-IMAKEEN	1979 10/17 1979 11/6	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIRS SOCIAL AFFAIRS GENERAL DIRECTOR	GOVERNORATE DEPT. OF SOCIAL AFFAIRS KENA EGYPT	
17	エジプト	MR. MOHAMED FATHI SHEBA	1980 6/6 1980 6/25	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF PUBLIC HEALTH SOUTH CAIRO HEALTH DIRECTORATE DIRECTOR GENERAL OF HEALTH	BEIDEK ST. AT TABA CAIRO EGYPT	
18	エジプト	MR. AHMED M. HECAB	1980 10/16 1980 11/5	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	POPULATION & FAMILY PLANNING BOARD	P. O. BOX NO. 1036 CAIRO-EGYPT	
19	エジプト	MR. ALI MOHAMED AMIR WAFIE	1981 4/9 1981 4/25	(S) FAMILY PLANNING ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICERS IN ASIA (10)	FAMILY PLANNING & POPULATION BOARD ADMINISTRATION OFFICE	P. O. BOX NO. 1036 CAIRO-EGYPT	(2)
20	エジプト	MR. SOLIMAN EL SHEHITAWY	1981 6/2 1981 6/25	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH EGYPT DEPARTMENT OF POPULATION & FAMILY DEPUTY DIRECTOR GENERAL	3, MAGLES EL SHAAB STREET CAIRO-EGYPT	
21	エジプト	MR. MOHAMED SAID TAWFIK	1981 6/11 1981 5/2	(S) MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH ALEXANDRIA HEALTH DEPARTMENT UNDER SECRETARY OF STATE	97 HORRY STREET ALEXANDRIA EGYPT	
22	エジプト	MR. FATHIA EL MARSAFAY	1981 9/30 1981 10/21	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH FAMILY PLANNING & POPULATION GENERAL DIRECTOR	MAGLESS SHAAB STREET	
23	エジプト	MR. EISA BEIFY SLY HATEM	1985 4/4 1985 5/3	(S) MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	MIR. OF HEALTH PRIMARY RURAL HEALTH CARE DEP. EGYPT CAIRO	MAGLES EL SHAAB ST. CAIRO EGYPT MIR. OF HEALTH	
24	エジプト	MR. HELMY MOHAMED MAFEH	1985 6/27 1985 8/2	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES (10)	HEALTH GOV. PUBLIC HEALTH DIRECTORATE DIRECTOR	PUBLIC HEALTH DIRECTORATE BENHA KALUBIYA GOVERNORATE	

(10): 集団 (20): 単発 (24): C/P (2) 准高級研修員

LIST OF PARTICIPANTS

1987.9.7

NO. 3

No.	氏名	期 間	研究科目	現 職	住 所	参 考
25	MR. MAHER ABDEL WAHAB WAKED	1985 9/19 1985 10/14	(S)FAMILY PLANNING ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICERS (10)	EGYPTIAN FAMILY PLANNING ASSOCIATION SOCIAL PLANNING AND EVALUATION ASSISTANT GENERAL DIRECTOR	5 TAALAT HARB STREET 5 FLOOR CAIRO	(2)
26	MR. SAID AHMED MOFSY GOMHA	1985 4/3 1986 5/2	(S)MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH EGYPT MANAGER M.C.-II-FAMILY	MINISTRY OF HEALTH EGYPT 7 BADYA ST HELIOPLIS	
27	MR. SHERIF AHMED EL SAYED	1986 6/29 1986 8/4	(S)COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES (10)			
28	MR. EL SAYED ABD EL FATAH AFIFY	1986 8/24 1986 9/22	(S)FAMILY PLANNING ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICERS (10)	MINI. OF SOCIAL AFFAIRS THE GENERAL DEP. OF WOMAN'S THE GENERAL DEP. OF WOMAN'S AFFAIRS CHIEF DEP. OF INTERNATIONAL CO-OP.	TAHIR SQUARE MOCAME BUILDING 4TH FLOOR CAIRO EGYPT	(2)
29	MR. HODA AHMED BAHAKAT	1987 6/28 1987 8/3	(S)COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES (10)	MINISTRY OF SOCIAL AFFAIR CAIRO EGYPT FAMILY AND CHILD WELFARE DEPARTMENT GENERAL DIRECTOR	MOCAMIO ALTAHRAR CAIRO EGYPT	
30	DR. AHMED MOHAMED HANNY	1982 4/1 1982 4/28	(S)FAMILY PLANNING ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICERS (10)	GENERAL MANAGER, ADMINISTRATION AND FINANCIAL DEPARTMENT OF POPULATION AND FAMILY PLANNING BOARD	POPULATION & FAMILY PLANNING BOARD, P.O. BOX 1036, CAIRO, EGYPT (OFFICE)	
31	DR. BELAL HASSAN A. HASSAN	1982 6/2 1982 6/24	(S)INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	HEAD OF INFORMATION, COMMUNICATION DEPT.	MINISTRY OF HEALTH, CAIRO, EGYPT	
32	DR. MONIR ABDALLA SHERIF	1982 8/11 1982 9/1	(S)MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)		129, OSMAN BEN AFFAN STREET, HELIOPLIS, CAIRO, EGYPT	
33	MR. MOHAMED ABDEL EL HAMED AWER	1982 11/3 1982 11/24	(S)COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES (10)		P. O. BOX 1036, CAIRO, EGYPT	
34	DR. MOHITHA MOHAMED EL SHAFFIE	1983 4/4 1983 4/25	(S)MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	DEPUTY DIRECTOR OF FAMILY PLANNING PROJECT.	5 AL ADRISSI ROXY HELIOPLIS, CAIRO, EGYPT	
35	DR. ABDELGHANY MOHAMED ABDELGHANY	1983 7/4 1983 8/2	(S)COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES	DIRECTOR OF PLANNING OFFICE DEPT. OF DEMOGRAPHY, INSTITUTE OF STATISTICS	5 THARRAT ST., ORMAN GIZA, EGYPT	
36	DR. MAHMOUD AHMED NI'AZI	1983 7/4 1983 8/2	(S)COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES	DRS./GYN. SPECIALIST OF OR EL MASREINE HOSPITAL, & FAMILY PLANNING CONSULTANT, DOKKI POLYCLINIC	63 EL ANSAR ST., MAJMAET EL AWKAF, DOKKI CAIRO EGYPT	

(10): 項目 (20): 所属 (24): C/P (2) 研究員

LIST OF PARTICIPANTS

1987.9.7

NO. 4

No.	国名	名前	期日	研修科目	現職	住所	参考
37	エジプト	DR. SAMI ALI ABD. EL WAHAB	1984 7/5 1984 8/1	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES	DIRECTOR GENERAL, MATERNAL & CHILD HEALTH SERVICES & FAMILY PLANNING BEHERA GOVERNORATE	DAMARHOUR, 23 EL GISHI STREET, 4TH FLOOR DAMARHOUR, BEHERA, EGYPT.	
38	エジプト	MR. RABIL RANZY CHORRIAL	1984 9/15 1984 10/5	(S) FAMILY PLANNING ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICER (10)	DIRECTOR, CONTRACEPTIVES DEPARTMENT, POPULATION & FAMILY PLANNING BOARD, THE SUPREME COUNCIL FOR POPULATION & FAMILY PLANNING	176 EL TERA EL BOULAKIA STREET-SHOUBRA, CAIRO	

(10): 集団 (20): 単発 (24): C/P (2) 寄附員

LIST OF PARTICIPANTS

1987.9.7

NO. 5

No.	氏名	名前	期間	研修科目	現職	住所	参考
1	リベリア	MR. PETER WATT	1981 6/6 1981 6/24	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH AND SOCIAL WELFARE DIVISION OF HEALTH EDUCATION	MONROVIA LIBERIA	
2	リベリア	MR. EMILE TILLARAH WOODS	1981 8/11 1981 9/2	(S) MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	THE J. F. K. WATERHURY CENTER DEPT. OF OBSTETRICS & GYNECOLOGY MEDICAL DIRECTOR	P. O. BOX 1973 MONROVIA LIBERIA	
3	リベリア	MS. RAWA JOHNSON	1981 9/29 1981 10/21	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	MINISTRY OF HEALTH AND SOCIAL WELFARE LIBERIAN GOVERNMENT HOSPITAL BOMTIASSANT DIRECTOR OF NURSES	MINISTRY OF HEALTH AND SOCIAL WELFARE WELFARE BOX 9091 MONROVIA LIBERIA	
4	リベリア	MS. C. W. NEMAH	1985 6/27 1985 8/2	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING PROGRAMMES (10)	FAMILY PLANNING ASSOCIATION OF OIBERIA PROGRAMME NATIONAL PROGRAMME COORDINATOR	BOX 938 MONROVIA LIBERIA	
5	リベリア	MS. WOKIE E. T. STEWART.	1985 9/19 1985 10/14	(S) FAMILY PLANNING ADMINISTRATION FOR SENIOR OFFICERS (10)	FAMILY PLANNING ASSOCIATION OF LIBERIA ADMINISTRATION GENERAL SERVICES EXECUTIVE DIRECTOR	FPAL P. O. BOX 938 27 BOARD MONROVIA LIBERIA	(2)
6	リベリア	MS. ALICE D. BARGBE	1982 6/2 1982 6/24	(S) INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION IN FAMILY PLANNING (10)	NURSE TRAINING OFFICER, FAMILY HEALTH DIV./FAMILY PLANNING INTERNATIONAL ASSISTANCE PROJECT, MINISTRY OF HEALTH & SOCIAL WELFARE	P. O. BOX 9809, MONROVIA (OFFICE)	
7	リベリア	MISS HETTIE KULA DAVID PRALL	1982 8/11 1982 9/1	(S) MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	C/O MINISTRY OF HEALTH & SOCIAL WELFARE SIKOR, MONROVIA, LIBERIA	ST. TIMOTHY'S HOSPITAL, ROBERTS PORT, GRAND CAPE MOUNT COUNTY, LIBERIA, WEST AFRICA	
8	リベリア	MISS JEANETTE Y GARRIE	1982 11/3 1982 11/24	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	SUPERVISOR, SANMIQUELLE MCH CLINIC, MINISTRY OF HEALTH & SOCIAL WELFARE.	MONROVIA, LIBERIA, WEST AFRICA	
9	リベリア	MS. ETTA AARON REEVES	1983 4/4 1983 4/25	(S) MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	ASSISTANT DIRECTOR OF NURSING SERVICE, LIBERIAN GOVT. HOSPITAL, MINISTRY OF HEALTH & SOCIAL WELFARE	LIBERIAN GOVT. HOSPITAL, GRAND BASSA COUNTY	
10	リベリア	MS. COMFORT TIADOO JONES	1983 7/4 1983 6/2	(S) COMMUNITY BASED FAMILY PLANNING (10)	SUPERVISOR OF HOSPITALS AND CLINICS, MINISTRY OF HEALTH AND SOCIAL WELFARE	P. O. BOX 2293, MONROVIA, LIBERIA	
11	リベリア	MS. THERESA A. WOODS- CAINE	1984 4/12 1984 5/2	(S) MEDICAL AND HEALTH ASPECTS IN FAMILY PLANNING (10)	DIRECTOR OF NURSING SERVICES, JOHN F. KENNEDY MEMORIAL HOSPITAL	J. F. K. MEMORIAL HOSPITAL, P. O. BOX 1973, MONROVIA LIBERIA	

(10): 集団 (20): 単発 (24): C/P (2) 準高級研修員

別添 3.

QUESTIONNAIRE

To Exparticipants in the Seminar on Family Planning Administration for Senior Officers, Community-Based Family Planning Strategy, Health Aspects in Family Planning, Information & Education & Communication in Family Planning. Please reply the following questions for improving the future programme of the seminar. Your frank opinions and suggestions are appreciated. (Please write in block letters or typewrite.)

General Questions

1. Kindly state your:

(1) .name (please underline your surname)

(2) .date of birth

(3) .seminar participation year

(4) .name of the organization and position when you participated in the seminar

2. Kindly state your

(1) . present address (Mailing Address)

(2) . career after the seminar

Duration of service	Position	Organization

(3). address of your present organization

3. Kindly state the process of your application for the seminar.

(1). In what way did you come to know of the seminar?

(2). Who had practically authorized your participation in the seminar including screening procedure when there are many applicants?

(3). Did you find any difficulty in procedure of your application and exit from your country? If any, please comment on it.

Reviewing the seminar programme

1. Kindly evaluate the following items with a mark (x) in respective places from the viewpoint of its adaptability to your job.

A : Excellent B : Fair C : Poor
 ※ FP : Family Planning ※ MCH : Maternal and Child Health

I T E M S I .Tokyo Session II .Country Presentation III .Field Observation		Adaptability to your job		
		A	B	C
I	1. Government MCH/FP programme			
	2. Non-governmental FP programme			
	3. Concept of integrated FP, nutrition and parasite control project			
	4. FP and primary health care			
	5. TEC of MCH/FP programme including KAP survey			
	6. Community organization			
	7. Adolescent health			
II	1. Presentation of country report			
III	1. MCH/FP administration of local governments and their relationship / mutual cooperation (prefectural / municipal)			
	2. Cooperation between municipal office and prefectural health center			
	3. Role of prefectural health center			
	4. Activities of community organizations based on self-reliance concept			
	5. Visit a farmer's house and observe their life style			
	6. Visit a primary school and observe health education to schoolchildren			
	7. Role and fee charging self-reliance activity of private association			
	8. Visit hospital			

2. Are there any items other than the above that you wish to recommend to include in the programme?

Are there any items in the table above you wish to recommend to exclude?

Which items of the seminar do you find the most useful?
And please describe the reason you find it useful.

3. Your achievement or experience of the seminar:
Has it ever proved to be useful in other way than to add to your own knowledge?
Kindly describe an instance, if any, where your experience helped improve or establish any system in your country.

4. How is your seminar certificate appraised in your organization?
Kindly state, if there's any privilege offered thereby?

5. Do you have any recommendation for the follow-up of the seminar?
Kindly describe how you would recommend to conduct it.

6. To help improve future programme, kindly mention your opinions or suggestions on the following.

Pre-information on the course:

Duration and season:

Number of the participants:

Level and background of the other participants:

Lecturers:

Visits to facilities:

Field trip:

Country report:

Discussion:

Text book and other materials:

others:

~~-----others-----~~

Is there a great difference between your country and Japan in the programme of family planning by:

1) .the Government

a) . difference

b) . similarity

2) .the Experts

a) . difference

b) . similarity

3). the Private (Voluntary) organization

a). difference

b). similarity

If you have any requests or other comments to JICA or Japanese Organization for International Cooperation in Family Planning. INC. (JOICFP), please describe them.

Thank you in advance.

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)

P. O. BOX 216 MITSUI BLDG
2-1, NISHI-SHINJUKU, SHINJUKU-KU TOKYO
163 JAPAN

Cairo, December 3, 1987

Dear Sir,

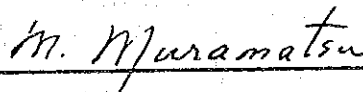
It is my great pleasure to submit the summary report of the Follow-up Team for Ex-participants of the Group Training Course in the Seminar on Family Planning.

The Team, which was dispatched by the Japan International Cooperation Agency as part of its technical follow-up programme for the returned participants in the Seminar on Family Planning and consists of three members as mentioned below, arrived in the Arab Republic of Egypt on November 28, 1987 and then continued its follow-up activities for the period of five days.

Through the visit of this time, we could obtain many valuable comments and suggestions about this Seminar from the competent authorities concerned and also from the ex-participants and other people around them. We are quite sure that the information we obtained should be greatly useful for the purpose of improving this training course and also technical cooperation programme.

Finally I would like to express my heartiest appreciation for your warm hospitality and kind cooperation extended to us during our stay in your country.

Yours faithfully,



Minoru Muramatsu

Leader, Follow-up Team for Ex-participants
of the Group Training Course
in the Seminar on Family Planning

SUMMARY REPORT

THE TECHNICAL FOLLOW-UP TEAM FOR JICA PARTICIPANTS WHO ATTENDED THE GROUP TRAINING COURSE IN THE SEMINAR ON FAMILY PLANNING

Objective: The Follow-Up Team will visit Ex-participants, their organizations and related organs for the purpose of offering guidance through consultation, evaluating the results of training in Japan and assessing problems and needs in the participants' country as well as for improving JICA's training programme.

- Members:
- 1). Dr. Minoru Muramatsu
President,
Saitama College of Health
 - 2). Miss Yoko Oshima
Staff, International Department, Japanese Organization
for International Cooperation in Family Planning, Inc.
(JOICFP)
 - 3). Mr. Toshio Hirai
Staff, Second Training Division, Training Affairs
Department, Japan International Cooperation Agency
(JICA)

Period: From November 28th, 1987 to December 6th, 1987.

Schedule of the Follow-up Team

- NOV. 28 (Sat.) Ar. Cairo (7:10) JL 475
- 29 (Sun.) Visit to JICA office for arrangement of the schedule
Courtesy Call to the Embassy of Japan
Visit to the National Population Council
- 30 (Mon.) Visit to the Ministry of Health
Visit to the Ministry of Social Affairs
- DEC. 1 (Tue.) Seminar on Population and Family Planning in Japan
Meeting with Ex-participants
- 2 (Wed.) Lv. Cairo by car
Ar. Alexandria
Visit to the Egyptian Family Planning Association,
Institute for Training and Research in Family Planning
- 3 (Thu.) Visit to the University of Alexandria, Faculty of Medicine
Visit to the Shatby Maternity University Hospital
Lv. Alexandria by car
Ar. Cairo
- 4 (Fri.), 5 (Sat.) Holiday (Collection of data and Report Making)
- 6 (Sun.) Lv. Cairo (8:00) BA 154

Egyptian personnel whom the Team met

1. National Populatin Council
 - (1) Prof. Sobhi Abdel Hakim
 - (2) Prof. Maher Mahran
 - (3) Mr. Fawzy Abdel Ghany Ahmed (Ex-participant)
 - (4) Ms. Wafaa Shalal Amin Gavin (Ex-participant)
 - (5) Mr. Abdel Fattah Ahmed (Ex-participant)
 - (6) Mr. Ali Amn Waface (Ex-participant)
 - (7) Mr. Nazzry Shaker Andrews (Ex-participant)

2. Ministry of Health
 - (1) Dr. Farouk Gafar
 - (2) Dr. Aliya Ayoub
 - (3) Dr. Moshira Mohamed El Shaffie (Ex-participant)

3. Ministry of Social Affairs
 - (1) Mr. Mohsen El-Badrawy (Ex-participant)
 - (2) Ms. Hanna Shafik Lawahiz (Ex-participant)
 - (3) Ms. Hoda Aimeed Barakat (Ex-participant)
 - (4) Mr. Maher Abdel Wahab Waked (Ex-participant)
 - (5) Mr. Soliman Khaled (Ex-participant)

4. Egyptian Family Planning Association,
Institute for Training and Research in Family Planning
 - (1) Ms. Salha Hanem (Ex-participant)

5. University of Alexandria, Faculty of Medicine
 - (1) Prof. Abdel Aziz Rizk

6. Shatby Maternity University Hospital
 - (1) Prof. Mousraha Ali El. Habashi
 - (2) Prof. Hamy Aly Abdel Rahma
 - (3) Prof. Mohamed Ramafan Gaber
 - (4) Prof. Mohamed Mohie El Din Khowessah
 - (5) Prof. Ibrahim Loutfi

Summarized Report

1. Visits to the Various Organizations and Institutions Concerned

We visited and observed a number of Egyptian organizations and institutions concerned. They include the National Population Council, Ministry of Health, Ministry of Social Affairs in Cairo, and also the Egyptian Family Planning Association Institute for Training and Research in Family Planning as well as the University of Alexandria in Alexandria. Through these visits, we came to learn that the Population and Family Planning activities have become more active in recent years in the Government as well as voluntary organizations, and that the JICA Ex-participants have been of great value in this connection.

More recently, Family Planning Programmes in Egypt have broadened their scope to the extent that they now include not only Family Planning per se but also population issues including population growth, distribution and characteristics. The Government of Egypt has a strong commitment to the Population and Family Planning Programme as is indicated by a high priority given to them in the overall national socio-economic policy. Obviously, manpower is of great importance in any national policy implementation, and we are pleased to know that the JICA Ex-participants have played a significant part in this connection. One possible problem here could be a somewhat high rate of attrition among Ex-participants, such as the fact that some Ex-participants have left their positions after they came back from Japan to other fields not necessarily related to Population and Family Planning for certain reasons. However, in so far as the remaining Ex-participants are concerned, they have done their best in making a maximum effort of what they learnt professionally while in Japan.

2. Meeting with Ex-participants

There are a total of 38 Ex-participants in Egypt. The Team was able to meet 24 of them, and 14 ex-participants cooperated with the Team in returning the Questionnaire, which JICA had distributed in advance. All the ex-participants we met still have a friendly feeling toward Japan, and the Team was pleased to know that the JICA seminar was

valuable not only for the learning of practical techniques but also for mutual understanding between the two countries.

Summarized opinions and suggestions of Ex-participants are as follows:

- (1) The duration of the Seminar is four weeks at the present moment, and many Ex-participants said that it was optimal more or less, although it has varied from two to five weeks as the Seminar programme has undergone modifications in its scope and category.
- (2) Some Ex-participants suggested more extended use of audio visual aids in the conduct of classroom activities. However, improvements have been made already in this respect more recently.
- (3) It was unanimously agreed that the discussion period for mutual exchange of experience among different country participants was of great value. Suggestions were made in favor of increased time allocation to free discussions among the participants in the Seminar.
- (4) There was a suggestion to make the age limits for participants in the Seminar more flexible, depending upon the specific focus of each Seminar.
- (5) All Ex-participants the Team was able to meet were of opinion that the field trip in the Seminar was of greatest importance and value. They expressed their strong desire for the continuation of this component.
- (6) Some people opined to the effect that the follow-up survey of this kind should be conducted within a shorter cycle as compared to the present practice of once every ten years.
- (7) Those Ex-participants who attended the IEC Seminar expressed their opinion that more practical elements should be incorporated into the seminar curriculum such as the use of wall charts, flip charts, slides and so on.

(6) It was suggested that opportunities might be provided for the seminar participants to observe Family Planning Programmes in other countries than Japan, taking advantage of their travel to the Far-East.

3. Seminar:

The Team held the seminar on " Population and Family Planning in Japan " in Cairo. This seminar was attended by 30 Egyptians. It consisted of two parts as follows:

- (1) Film Show: " Health by the People in Japan "
" Understanding Maternal and Child Health "
- (2) Lecture on: " Population and Family Planning in Japan "

Team's Impression

1. The Team was deeply impressed that human resources were of vital significance in the implementation of national Family Planning programme. Probably, training of foreign participants through the Seminar on Family Planning Programme could be regarded as the highest priority undertaking in the whole technical cooperation provided by JICA in the field.
2. Although the final selection of candidates for the Seminar should be duly left to the local authorities concerned, it would enhance the value of training course in Japan if the country concerned send those individuals who are truly engaged in the Population and Family Planning of their own country, inter alia, those individuals bearing direct responsibility for official decision making. Also, we may take the liberty of suggesting to the authorities concerned that the criteria for selecting Seminar candidates could be more broad and flexible so as to include those individuals working outside the Government sector, in addition to those directly concerned therewith.
3. Egypt has a vantage ground in the sense that the JICA Office is available within the country. Mutual cooperation and close contact has already established between the JICA Office in Cairo and the Egyptian Government. It is hoped that this friendly relationship will be maintained in the future as it has been in the past.
4. The meeting with the Ex-participants and the officials in Egypt were very useful and beneficial to the Team. We shall transmit their opinions and suggestions to the authorities concerned in Japan for the further improvement of the Group Training Course in the Seminar on Family Planning.

Finally on behalf of the Follow-up Team for JICA Ex-participants who attended the Group Training Course in the Seminar on Family Planning, I would like to express my hearty gratitude to those authorities who were kind enough to provide necessary opportunities for our purpose of visit to Egypt.

With sincere thanks, we are pleased to submit this report to your office.

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)

P. O. BOX 216 MITSUI BLDG
2-1, NISHI-SHINJUKU, SHINJUKU-KU TOKYO
163 JAPAN

Monrovia, December 10, 1987

Dear Sir,

It is my great pleasure to submit the summary report of the follow-up team for ex-participants of the group training course in the Seminar on Family Planning.

The Team, which was dispatched by the Japan International Cooperation Agency as part of its technical follow-up programme for the returned participants in the Seminar on Family Planning and consists of three members as mentioned below, arrived in the Republic of Liberia on December 7, 1987 and then continued its follow-up activities for the period of three days.

Through the visit of this time, we could obtain many valuable comments and suggestions about this Seminar from the competent authorities concerned and also from the ex-participants and other people around them. We are quite sure that the information we obtained should be greatly useful for the purpose of improving this training course and also technical cooperation programme.

Finally I would like to express my heartiest appreciation for your warm hospitality and kind cooperation extended to us during our stay in your country.

Yours faithfully,



Minoru Muramatsu

Leader, Follow-up Team for Ex-participants
of the Group Training Course
in the Seminar on Family Planning

SUMMARY REPORT

THE TECHNICAL FOLLOW-UP TEAM FOR JICA PARTICIPANTS WHO ATTENDED THE GROUP TRAINING COURSE IN THE SEMINAR ON FAMILY PLANNING

Objective: The Follow-Up Team will visit Ex-participants, their organizations and related organs for the purpose of offering guidance through consultation, evaluating the results of training in Japan and assessing problems and needs in the participants' country as well as for improving JICA's training programme.

- Members:
- 1). Dr. Minoru Muramatsu
President,
Saitama College of Health
 - 2). Miss Yoko Oshima
Staff, International Department, Japanese Organization
for International Cooperation in Family Planning, Inc.
(JOICFP)
 - 3). Mr. Toshio Hirai
Staff, Second Training Division, Training Affairs
Department, Japan International Cooperation Agency
(JICA)

Schedule of the Follow-up Team

Period: From December 7th, 1987 to December 10th, 1987

- DEC. 7 (Mon.) Ar. Monrovia
- 8 (Tue.) Courtesy Call to the Embassy of Japan
Visit to the Ministry of Foreign Affairs
Visit to the Ministry of Health and Social Affairs
Visit to the Family Planning Association of Liberia
- 9 (Wed.) Seminar on Population and Family Planning in Japan
Meeting with Ex-participants
- 10 (Thu.) Visit to the John F. Kennedy Hospital
Visit to report to the Embassy of Japan
Lv. Monrovia

Liberian personnel whom the Team met

1. Ministry of Foreign Affairs
 - (1) Mr. Samuel Sherman
 - (2) Miss Genevieve Kennedy

2. Ministry of Health and Social Affairs
 - (1) Mrs. Martha Belle
 - (2) B/Gen. J. Boima Barclay
 - (3) Dr. Ivan F. Camanor
 - (4) Mrs. Marion Subah
 - (5) Mr. John Welai Davis

3. Family Planning Association
 - (1) Mrs. Wokie E. T. Stewart (Ex-participant)

SUMMARIZED REPORT

1. Visits to the Various Organizations and Institutions Concerned

We visited and observed the Ministry of Foreign Affairs, Ministry of Health and Social Affairs and the Family Planning Association of Liberia. Through these visits we were informed of the current situation of Population and Family Planning activities in Liberia.

On the government side, the National Population Commission, a central coordinating agency for Population Policies, is in the process of deciding officially on the Liberian Population and Family Planning Programmes, but as of today, the final decision is still pending.

In a few years, there may be an official decision in this field. In the meantime, Family Planning activities are carried out through a number of clinics of the Family Planning Association of Liberia and also through integration of Family Planning with Maternal and Child Health activities. Thus, concentrated efforts of Family Planning on a national basis are yet to be seen, and it is hoped the time will come soon for concrete actions.

2. Meeting with Ex-participants

There are a total of 11 Ex-participants in Liberia. The Team was able to meet 4 of them and all of them cooperated with the Team in returning the Questionnaire, which JICA had distributed in advance. All the Ex-participants we met still have a friendly feeling toward Japan, and the Team was pleased to know that the JICA Seminar was valuable not only for the learning of practical techniques but also for mutual understanding between the two countries.

Summarized opinions and suggestions of Ex-participants are as follows:

(1) It is recommended that the Japanese authorities responsible for the Planning of Population and Family Planning Seminars try to get feedback regularly from the Ex-participants on their activities after return to home countries.

(2) Follow-up Seminars of the kind such as the one held in Monrovia this time should be conducted more often, in order to up-date the knowledge and skills of the Ex-participants.

(3) The distribution of Japanese news letters, such as JOICFP News, are well received by the Ex-participants. Such efforts should be continued in the future. It is suggested that a somewhat advanced Seminar be held in Japan as follow-up to the Ex-participants so that they could have more recent information on their second visit to Japan.

(4) It is generally agreed that the exchange of Ex-participants among different countries during the Seminar provide a unique opportunity for the participants to broaden their scope of knowledge. This session should be continued in the future programme.

(5) Field visits provided during the Seminar are rated as a high priority component of the Seminar. Especially, observations on the life style of farmers in Japan are of greatest value.

3. Seminar

The Team held the Seminar on " Population and Family Planning in Japan " in Monrovia. This seminar was attended by 7 Liberians.

It consisted of two parts as follows:

- (1) Film Show : " Health by the People in Japan " " Understanding Maternal and Child Health "
- (2) Lecture on : " Population and Family Planning in Japan "

Team's Impression

The Team was deeply impressed that the Liberian Participants who attended the Group Training Course in the Seminar on Family Planning in Japan still preserved their warm feeling of friendship toward Japan. They valued their first visit to Japan as the experience of unforgettable significance. Many Ex-participants express their desire to revisit Japan.

The selection of candidates for the seminar is carried out carefully through the Government channels concerned in Liberia. Efforts have been made to ensure that most appropriate participant be sent to Japan according to the types of the seminar they are going to attend. It is hoped that this practice will be maintained in the future so that the Japanese authorities concerned with the seminar could develop a most suitable programme for each different seminar.

The meetings with the Ex-participants and the officials in Liberia were very useful and beneficial to the Team. We shall transmit their opinions and suggestions to the authorities concerned in Japan for the further improvement of the Group Training Course in the Seminar on Family Planning.

Finally on behalf of the Follow-up Team for JICA Ex-participants who attended the Group Training Course in the Seminar on Family Planning, I would like to express my hearty gratitude to those authorities who were kind enough to provide necessary opportunities for our purpose of visit to Liberia.

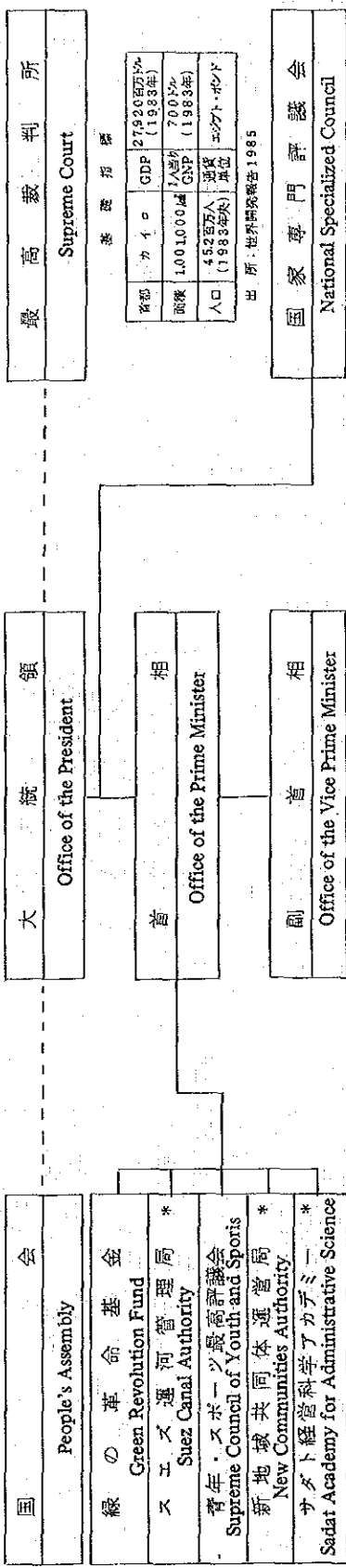
With sincere thanks, we are pleased to submit this report to your office.

別添 5. 現地セミナーでの帰国研修員への配布資料

- (1) Basic Readings on Pop. & F.P. in Japan
- (2) Bird's-Eys View of Pop. & F.P. in Japan
- (3) Saving the Children
- (4) Maternal and Child Health Handbook

エジプト

エジプト 国家行政組織図
(60年12月現在)



基礎指標

首都	カイロ	GDP	27920億ドル (1983年)
面積	1,001,000 ㎢	人口	4520万人 (1983年)
		通貨	エジプト・ポンド

出所：世界開発報告 1985

国家専門評議会
National Specialized Council

外務省 Ministry of Foreign Affairs	企画・国際協力省 Ministry of Planning and International Cooperation	農業・食糧保障省 Ministry of Agriculture and Food Security
社会問題省 Ministry of Social Affairs and	新地域共同体・土地開発省 Ministry of Reconstruction, New Communities and Land Reclamation	労働省 Ministry of Manpower and Vocational Training
運輸・通信省 Ministry of Transport, Communications and Maritime Transport	電力・エネルギー省 Ministry of Electricity and Energy	情報省 Ministry of Information
国内商務省 Ministry of Home Trade	内務省 Ministry of Interior	灌漑省 Ministry of Irrigation
石油・鉱物資源省 Ministry of Petroleum and Mineral Wealth	宗教省 Ministry of Waqfs	住宅省 Ministry of Housing and Utilities
高等教育・科学研究省 Ministry of Higher Education and Scientific Research	文化省 Ministry of Culture	観光・民間航空省 Ministry of Tourism and Civil Aviation
国内・外移民省 Ministry of Immigration and Egyptian Expatriate Affairs	経済・貿易省 Ministry of Economy and Foreign Trade	内閣・行政問題省 Ministry of Cabinet Affairs and Administrative Development

国家行政組織図

リベリア共和国
国家行政組織図
(61年2月現在)

リベリア

最高裁判所
Supreme Court

基礎指標

首都	モノロビア	GDP	980百万ドル (1983年)
面積	111,000 ㎞ ²	1人当り GNP	480ドル (1983年)
人口	2.1百万人 (1983年失)	通貨 単位	リベリア・ドル

出所：世界開発報告1985

大統領
Office of the President

Autonomous Bureaus, Public Corporations

副大統領
Office of the Vice-President

国会
House of Representatives and Senate

Liberia Telecommunication Corporation*
Liberia Water and Sewerage Corporation*
Liberia Electricity Corporation
Liberia Produce Marketing Corporation
National Palm Corporation
Liberia Coffee Cocoa
National Port Authority
Liberia Broadcasting System*

国家行政組織図

大統領関係事項担当国務省 Ministry of State for Presidential Affairs	外務省* Ministry of Foreign Affairs	法務省 Ministry of Justice	大蔵省 Ministry of Finance
保健・社会福祉* Ministry of Health and Social Welfare	農業省* Ministry of Agriculture	通商・産業・運輸省 Ministry of Commerce, Transportation and Industry	郵政省 Ministry of Posts and Telecommunications
労働省 Ministry of Labor	国防省 Ministry of National Defence	企画・経済省* Ministry of Planning and Economic Affairs	情報省 Ministry of Information
土地・鉱山・エネルギー省 Ministry of Lands, Mines and Energy	治安省 Ministry of National Security	農村開発省* Ministry of Rural Development	内務省 Ministry of Internal Affairs
青年・スポーツ省* Ministry of Youth and Sports	公共事業省* Ministry of Public Works	文部省 Ministry of Education	

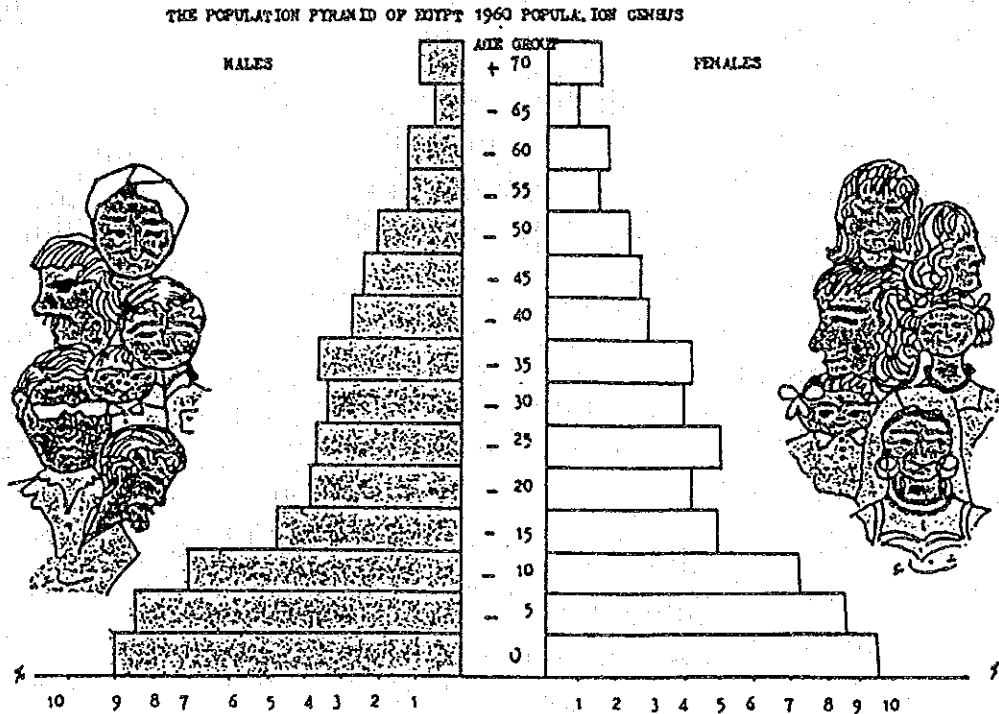
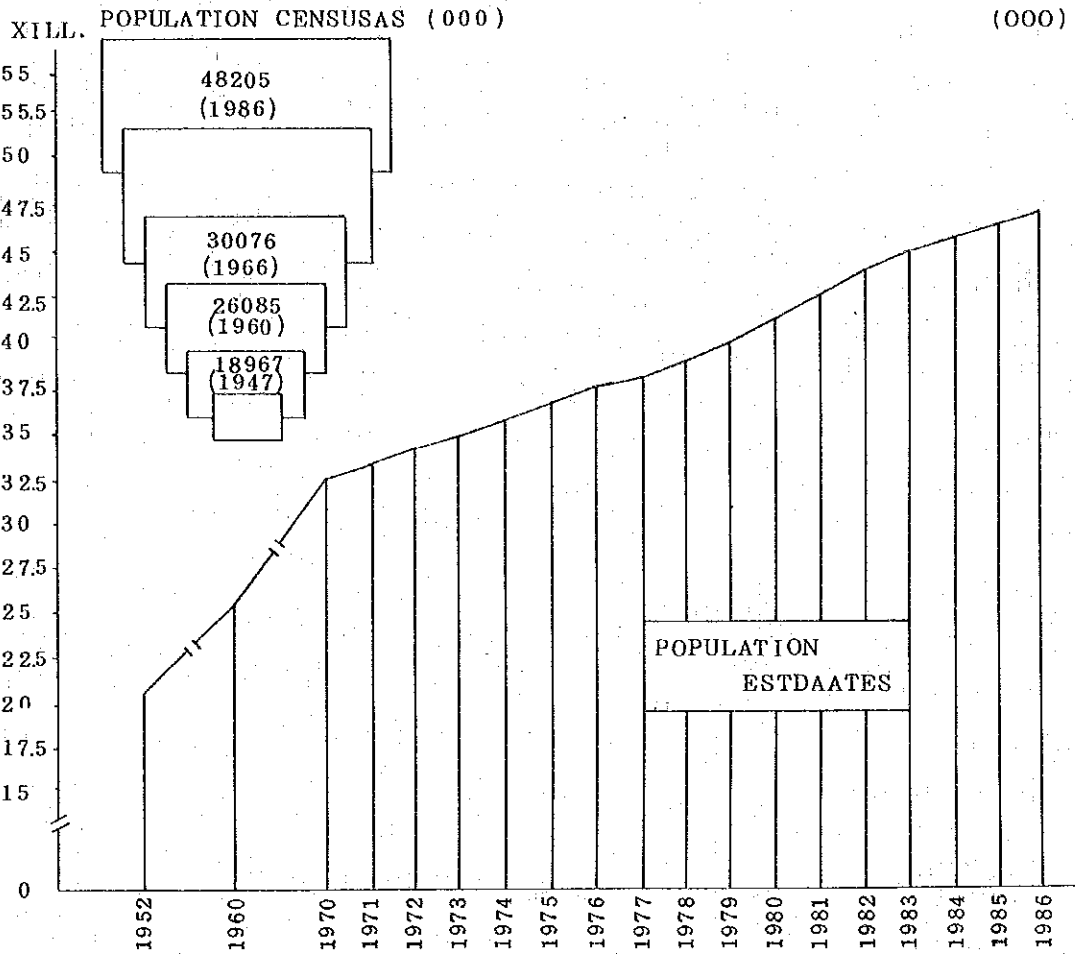
No. 1-1. Basic Demographic and Geographic Distribution, by Census Year

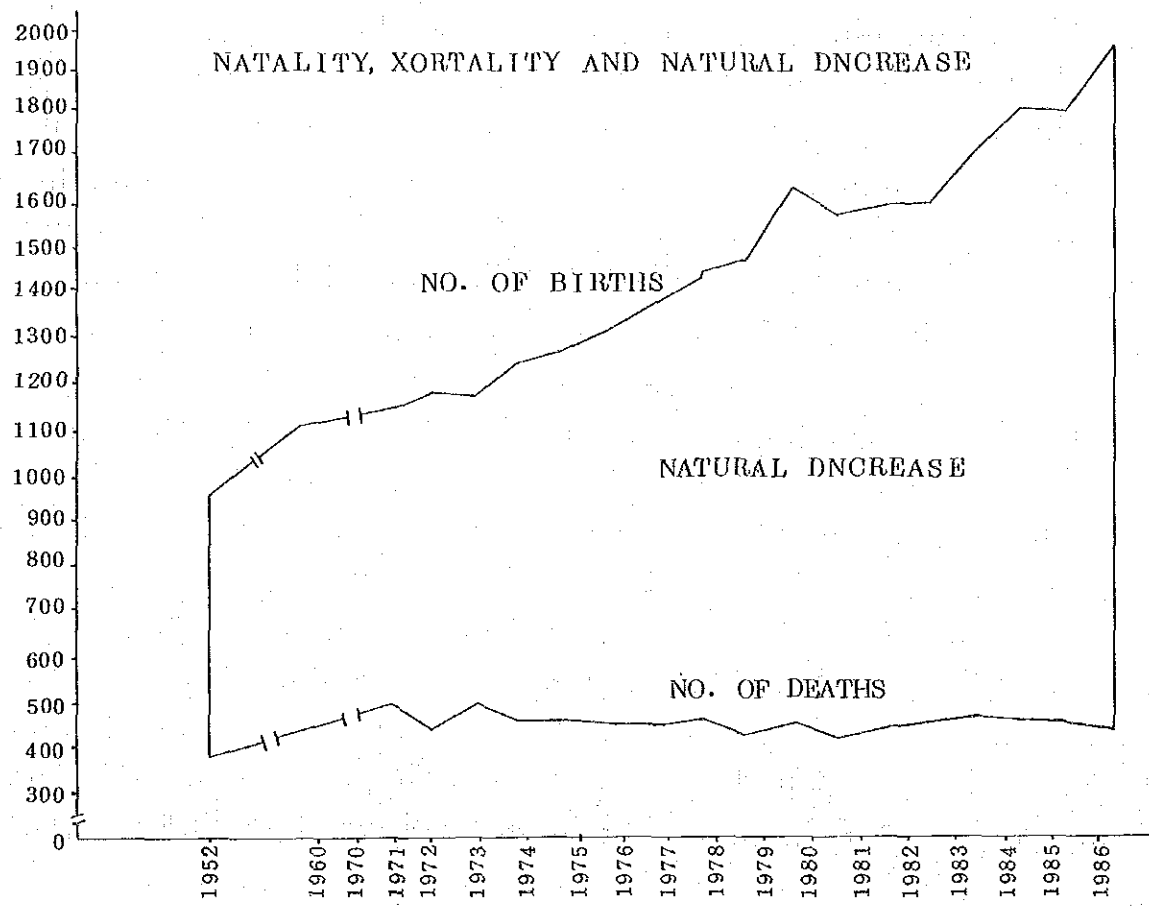
Item	Census Years					
	1937	1947	1960	1966	1976	1986*
Total population in (000)	15,921	18,967	26,085	30,076	38,198	48,205
Major cities in urban governorates (Capitals)	6	6	5	4	4	-
Percent of population in major cities	14.1	18.0	21.5	21.8	21.4	-
Number of towns in lower Egypt (towns and capitals of governorates)	46	51	61	68	79	-
Number of towns in upper Egypt (towns and capitals of governorates)	38	44	56	56	63	-
Percentage of urban population in lower and upper Egypt	10.2	12.1	16.1	18.0	22.0	-
Number of villages in lower Egypt	2,237	2,248	2,361	2,369	2,400	-
Number of villages in upper Egypt	1,684	1,709	1,682	1,664	1,666	-
Percentage of rural population in lower and upper Egypt	75.0	69.0	62.3	59.0	55.09	-
Number of towns in frontier governorates	16	25	25	26	23	-
Percentage of urban population in frontier Governorates	0.7	0.9	1.1	1.2	0.7	-
Total area of Egypt (in 000. sw. km.)	1,006	1,002	1,002	1,002	1,002	1,002

(1) Including population in frontier governorates.

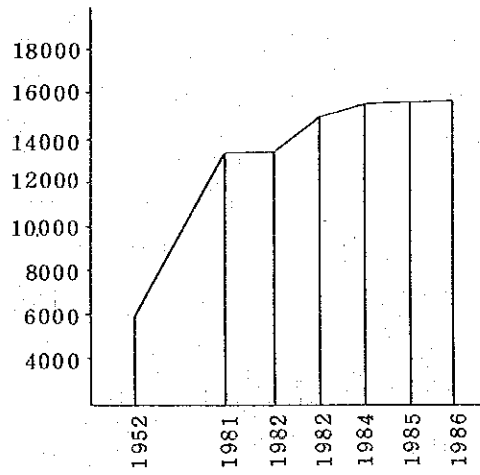
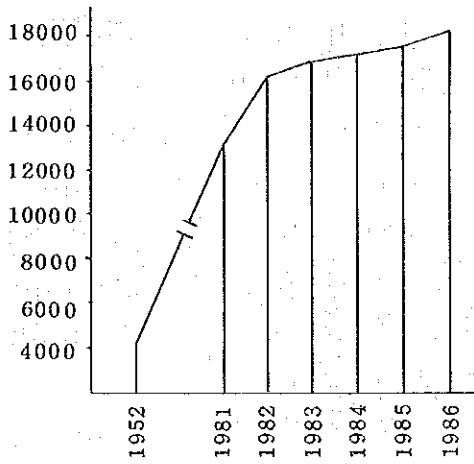
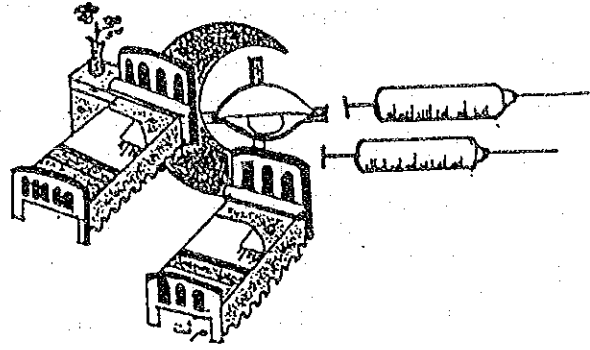
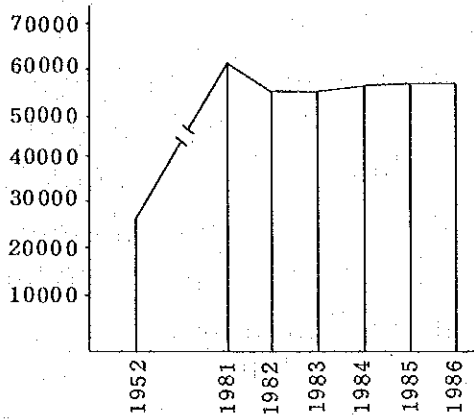
(2) Including Egyptians living abroad.

(3) Excluding Egyptians living abroad.





別添 7 - 4



JICA